

2023/10/8

古川昭夫(SEG)

1) SEG で多読に挑戦しはじめの生徒さんたちの読むスピードはどの程度なのか。(高校)

分速80語です。

2) あるいは「どの程度の速さで読むこと」という指標を与えているのかどうか。

分速200語です。

3) 学年が上がるにつれて受験を意識した生徒たちが、多読ではなく、他の教材に取り組みたがるという傾向は見られるのか。

当然、他の科目の勉強に回す時間が増えるので、課外が多読は諦めて、時間内に集中して多読してもらいます。SEGでは、12月の冬期講習まで授業内多読の時間があります。

4) もしそのような生徒が現れたときには生徒の選択に任せるのか。それともあくまでも多読の効果に期待して多読を続けさせているのか。

授業中は多読しろといいますが、ただし、中には、生物の本や、世界史の本を英語で読む生徒もいます。CRISPRの本などは医学部受験の生徒に好評です。

5) 高2から始めて、週1のペースで間に合わせられるのか。

東大2次なら、YL7までは必要。東工大2次でも、YL6までは必要です。共通テストでも、YL3までは必要です。それを視野に、

高2の1学期 YL1-2 高2の2・3学期 YL2-3

高3の1学期 YL3-4 高3の2学期 YL3-7

と生徒の力と目標に合わせてレベル上げします。本人に意欲と基礎英語力があれば、YL2まで高2の間に読める様になっていれば、高3でなんとか間に合います。

学内での多読反対者の説き伏せ方を教えて欲しい。(私立中高一貫)

合格実績を出すしかありません。まずは、希望者を集めて、「多読クラブ・多読同好会」を始め、その中で実績と卒業生・保護者の意見を引き出すのが結局は早道です。

今後多読の本は電子化されて無くなっていくのでしょうか？ 出版社の動向を知りたいと思います。大手出版社も今在庫を処分しているように感じるのですが、どうなのでしょう。

本の売れ行きが下がると、紙版はすぐ絶版になり、電子版のみになる可能性は高いと思います。

紙版の多読用 GR や LR がなくなることは10年単位ではないと思います。

中学と高校での多読の指導の違い(生徒の読めるレベルと動機付けの違い)(私立中高一貫)

中学ではレベルはやや抑え気味の指導が良いです。

高校では、生徒の背中を押し、読める本をどんどん読んでもらうのが良いです。

多読をしない若い先生へのアプローチはどうするのが良いでしょうか？

読むのが苦痛、読まず嫌いという人が多いと思います。 *When Stars are Scattered, White Bird* など内容があり、読みやすい Graphic Novels を薦めて、感動してもらうのが良いでしょう。

男子(中 1~3)でハリーポッターが既に楽しく読める生徒に進められる本を、教えて頂きたいです。高校生用の本だと中1にはまだテーマが重い本も多いかと思うので。(私立中高一貫)

HP は、映画とかで内容を知っているため読めるが、他の同レベルの本はしっかり読めないという生徒さんもいます。まずは、本当に読めているかどうかチェックしてください。読めていると、確認できたら、 CER4-6, PER/PGR4-6, MMR4-6, OBW4-6. PR5-7, Egmont Easy Readers などの GR, Konosuba, Rascal, Classroom Elite などのライトノベルの英訳版、 Key to the Universe, Darren Shan, Holes, SPY School, The Diary of a Wimpy Kid, Curious Incident, One of Us is Lying, Shadow Children, Giver, Book Thief, David Walliams, Percy Jackson, Land of Stories, Book Thief, The Thief Lord, Smile などの Scholastic Graphic Novels, When Stars are Scattered, White Bird など

男子高校生で YL 3.0~ 以上で人気の本を沢山教えて頂きたいです。

CER4-6, PER/PGR4-6, MMR4-6, OBW4-6. PR5-7, Egmont Easy Readers などの GR, Hachette, Alex Rider, Darren Shan, Konosuba, Rascal, Classroom Elite, Cherub, Slated, Tomorrow, Spy School, Part-time Indian, One of Us is Lying, A Good Girl's Guide to Murder, Eragon, Percy Jackson, Maze Runner, Hunger Games, Martian, Key to the Universe, Warriors, Call me by Your Name, Luna, Christie, Ishiguro, Toaster Project, Narnia, K.R.Alexander の B 級ホラー

多読でリスニング力が伸びるのはなぜか？(大学)

前後関係で英文の内容を理解する力がつくので、リスニング時に不明な単語があっても全体の意味を推測できるようになるからです。

大学の一般教養(必修)授業の一環として導入。評価についてどのようにしたらよいのかが知りたいところです。評価は出席点で良いかと思います。それが不可なら、何か、客観的な試験をプラスするのが良いかと思います。学生は cheating の天才ですので、cheating を誘うような評価方式は避けるべきかと思います。

多読と学習意欲の関係(大学)

学習意欲が高い学生の方が多読の効果は高いですが、それは、「多読」に限らずどの科目でも共通かと思っています。難しすぎる本を読ませると、確実に学習意欲は減退します。

実際の現場での具体的な指導方法。文法指導との兼ね合い。

生徒のレベルにあった本用意して読んでもらいます。イメージがつかめない場合には、定評ある多読指導をしている教育機関を見学するのが良いでしょう。SEG も授業見学が可能です。

文法指導は、必要に応じて最小限で良いと思います。

記録の仕方(オレンジの手帳のほかにフォームがあるのか)。多読の弊害はあるのか。

手帳で十分ですが、全員がスマホをもっているなら、WEB上に記録してもらうのも良い方法です。

中1の英語初心者相手に、「わからないところは飛ばせ」といえばしっかり読まなくなる弊害がありえます。しかし、すでに、英語を1年以上、合計120時間以上学習している生徒さんに対しては、弊害というものは考えられません。

I'd like to know if anyone in the Extensive Reading community in Japan has also been doing COIL (Collaborative Online International Learning), also known as Virtual Exchanges. In other words, have any teachers matched their students in Japan with students in other countries to discuss graded readers, or anything else. (X-reading)

I'm sorry that I don't know who are doing COIL. Maybe Takatsuka school in Osaka does COIL.

英語力はあるのに、YLを上げようとしていない学習者への対応について(大学)

読んでさえいれば、YLを低いものを読んでも、英語力は上がるので、特に対応の必要はありません。

楽しければそれで良く、もし、本人が楽しくないなら、もっとYLを上げた方が楽しい本が多いよと示唆してはどうでしょうか？

日本語で本を読まない生徒への多読指導法。(塾)

定期的に授業内に読んで読む習慣をつけるのが一番です。多読開始時は、CDや読み上げソフトを使って音源を聞きながら読んでもらうのも良い方法です。パソコン、タブレット、スマートフォンを利用した多読では、ゲームをさせないようにしないと、多読はしてくれないと思います。

MyOnを利用して3年目ですが、皆さんの利用状況はどのくらいなのか、伺えたら助かります。(塾)

残念ながら、知りません。SEGではコロナの1年間だけ利用していましたが、年度末には利用していた人はほとんどゼロで、翌年は契約をしませんでした。X-Reading, eSTATIONに比べて、日本でMyOnはそれほど利用されていないかと思われます。On Lineシステムで、毎週5000語程度、年間25万語読めれば、英語の成績の向上に着実に繋がると思います。

多読を生活の一部(趣味)として継続できるようにする効果的な方法(私立中高一貫)

生徒に興味のある内容の本を読んでもらうことにつきます。ただし、継続的に読んでもらうには、授業時間を使つての多読、あるいは、多読クラブでの部活動時間に多読など、定期的に読む環境作りが必要です。

多読開始時、学習者の適切な読みのレベルをどのように決めているのか。(大学)

1クラスの人数が10人以下ならば、一人一人の希望に合わせたレベルの配本をしていくのが良いでしょう。易しい本から読みたい人は、ORT3位から、ある程度自信のある人は、OBW0から読み始め、そこから、理解度テストや読書速度をみて、徐々にレベルを上げていくのがよいでしょう。

1クラスの人数が20人以上で授業中に一人一人と話す時間が十分にとれない場合には、まずは、一律に易しい本ORT3/FRL1を各自6冊用意して。読み始めてもらい、読む速度や理解度、ミニ英作文テス

トなどを通じて、生徒の英語力を把握し、個別にちょっとずつレベルを上げていくのが良いでしょう。

#### 多読とその他の勉強(単語・文法)のバランスについて(塾)

生徒が学びたいなら単語も文法も自習を奨励するのが良いと思います。生徒が学びたくないともっているなら、最小限のみやってもらうで十分でしょう。

1つの授業の中でバランスを取る必要はなく、教育機関全体の英語プログラムの中で、あるいは、学校での文法や単語の時間配分も考えて、全体でバランスをとれば十分かと思います。

現在の勤務校に着任してから多読にかかわっています。学校としての目標は3年間で100万語なのですが、達成できる生徒は10人ほどしかいません。何が多読に影響を与えるのか考えたいと思っています。(公立高校)

授業中に多読時間はありますか？ 年間30時間、3年で90時間の多読時間があるなら、分速120語として、 $45分 \times 90回 \times 120語 = 486,000語$ しか授業中には読めません。従って、3年間で100万語読む目標は非現実的かと思います。3年間で50万語というのが現実的な目標かと思います。春期・夏期・冬期の休暇中にも多読の集中授業を行わない限り、100万語は難しいです。もちろん、授業外にも読む人が増えれば達成可能な数字ではありますが。なお、授業内多読時間がないなら、3年間で100万語はそもそも達成不可能な目標と言わざるを得ません。何が、多読の量に一番影響を与えるかといわれれば、多読するための時間です。なお、定量的な目標より、高3では、こんな本を読もうという目標の方が生徒の動機は上がるかもしれません。

#### フォニックスから多読へのスムーズなトランジションが知りたいです。(私立中高一貫)

1冊100語程度の短い本からちょっとずつ長い本にしていくのがスムーズかと思います。